

## 栄区民まつり

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は令和5年11月4日（土）、横浜市立本郷中学校（横浜市栄区）の校庭で開催された「栄区民まつり」に参加した。

当日は晴天に恵まれて多くの来場者でにぎわい、地元の協力者の方も激励に訪れてくださった。

上大岡募集案内所の広報ブースでは、自衛隊の活動状況の写真パネルの展示、迷彩服の試着体験、約10キログラムの背嚢を背負う体験、缶バッジが当たるクジ引きなどを実施し、「将来は自衛官になりたい」という少年は、迷彩服をかっこよく着こなしてポーズを決めて写真を撮ったり、背嚢を背負ったりしてイメージを膨らませているようだった。

また、缶バッジのクジ引きは行列ができるほどの人気で、子供たちは、狙った缶バッジが当たるように祈りながらクジを引き、自衛隊グッズがもらえる「当たり」のクジを引き当てた親子は、うれしそうにグッズを受け取っていた。上大岡募集案内所は、「今後も協力者の方などを通じて地域の方々と密接に連携し、より多くの市民に自衛隊を理解してもらえよう、積極的にイベントに参加して防衛基盤の拡充を図っていききたい」としている。



## 根岸中学校で職業講話

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は11月9日（木）、横浜市立根岸中学校で「自衛官の仕事」と題した講話を実施した。根岸中学校では、「生徒に将来の夢や希望を見つけてほしい」と、様々な職業の方を講師として招く「職業講話」を実施しており、今回の講話には40名の中学1年生が参加してくれた。講話では、自己完結組織である自衛隊の概要と隊員の豊富な職域について説明した後、空挺団や水陸機動団での勤務経験がある広報官から「空挺レンジャー課程」などの厳しい訓練について、特別航空輸送隊での勤務経験がある広報官から政府専用機のパイロットや航空機整備員などの勤務や訓練について説明を行った。

職業選択の重要性や学習への取り組み方、人とのつながりや絆の大切さなどについて考えるきっかけになるよう工夫して講話を実施したことで、生徒たちは終始真剣なまなざしで熱心にメモを取ったりしながら、自衛隊の厳しい訓練や幅広い職域に驚いている様子だった。

講話終了後、生徒から「自衛隊のイメージが変わった」、「来年は職業体験に行きたい」などのうれしい声が聞かれ、先生も「生徒たちがあんなに真剣に聞いているとは」と驚くほどだった。

上大岡募集案内所は、「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力伝えていきたい」としている。

